

経済・金融 フラッシュ

商業販売統計 09年9月 ～自動車を中心に持ち直しの動き

経済調査部門 研究員 桑島 滋

TEL:03-3512-1838 E-mail: kuwahata@nli-research.co.jp

1. 自動車を中心に持ち直しの動き

小売業及びコンビニエンスストア販売額(増減率)

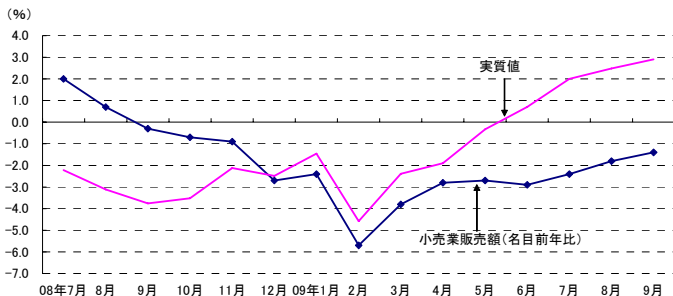
10月28日に経済産業省から公表された09年9月の商業販売統計速報によると、小売業販売額は前年比▲1.4%の10兆5440億円と、13ヵ月連続の減少となったが、悪化幅は、3ヵ月続けて縮小した。また、季節調整済前月比でも0.9%と3ヵ月続けて増加した。物価変動の影響を除いた実質値(当研究所試算値)では、前年比2.9%と、8月(同2.5%)から0.4%ポイント増加幅を拡大させ、4ヵ月連続の増加となった。金額ベースでの落ち込みは、物価下落の影響を強く受けているものと考えられる。

	小売業								コンビニエンスストア販売額	
			大型小売店							
	前月比	前年比	前年比	前年比(既存店)	百貨店	スーパー	前年比(既存店)	前年比	前年比(既存店)	
08年7月	0.2	2.0	0.2	▲0.7	▲2.4	▲2.3	2.2	0.5	13.3	11.5
8月	0.2	0.7	▲1.0	▲2.2	▲3.1	▲2.9	0.1	▲1.8	6.7	5.1
9月	0.0	▲0.3	▲2.1	▲3.3	▲4.9	▲4.6	▲0.4	▲2.6	7.5	6.4
10月	▲0.6	▲0.7	▲2.9	▲4.3	▲7.2	▲6.9	0.0	▲2.6	9.8	7.9
11月	▲0.2	▲0.9	▲1.7	▲3.1	▲6.6	▲6.3	1.8	▲0.7	9.1	7.2
12月	▲1.7	▲2.7	▲4.8	▲6.2	▲9.7	▲9.6	▲1.1	▲3.6	7.8	5.8
09年1月	▲0.1	▲2.4	▲3.8	▲5.5	▲9.4	▲9.2	▲0.2	▲3.1	8.8	6.8
2月	▲0.2	▲5.7	▲6.5	▲8.1	▲11.8	▲11.4	▲3.4	▲6.1	4.0	2.0
3月	▲1.0	▲3.8	▲6.7	▲8.2	▲13.3	▲12.9	▲2.1	▲4.9	6.1	3.9
4月	0.7	▲2.8	▲5.0	▲6.7	▲12.0	▲11.3	▲0.7	▲4.0	6.5	4.0
5月	0.1	▲2.7	▲4.5	▲6.5	▲12.7	▲12.1	0.5	▲3.0	3.1	0.8
6月	▲0.2	▲2.9	▲5.2	▲6.8	▲10.1	▲9.1	▲2.1	▲5.4	0.9	▲1.7
7月	0.5	▲2.4	▲7.0	▲8.4	▲12.8	▲11.8	▲2.9	▲6.1	▲5.1	▲7.5
8月	1.0	▲1.8	▲5.0	▲6.8	▲10.3	▲8.9	▲2.4	▲5.7	▲3.0	▲5.6
9月	0.9	▲1.4	▲4.2	▲5.6	▲9.5	▲7.8	▲1.1	▲4.2	▲2.4	▲5.7

(資料) 経済産業省「商業販売統計」

業種別には、百貨店などの各種商品小売業が前年比▲5.2% (8月:同▲6.6%)、ガソリンスタンドなどの燃料小売業が前年比▲10.0% (8月:同▲8.7%)と、大幅悪化が続いているものの、政策効果から自動車小売業が前年比4.2% (8月:同8.4%)と4ヵ月続けて増加した他、織物・衣服・身の回り品小売業(前年比1.7%)、機械器具小売業(前年比2.0%)で増加となり、公表されている7業種のうち3業種で前年比増加となった。寄与度でみると、自動車小売業が0.5%、各種商品小売業が▲0.6%、燃料小売業が▲1.1%となった。

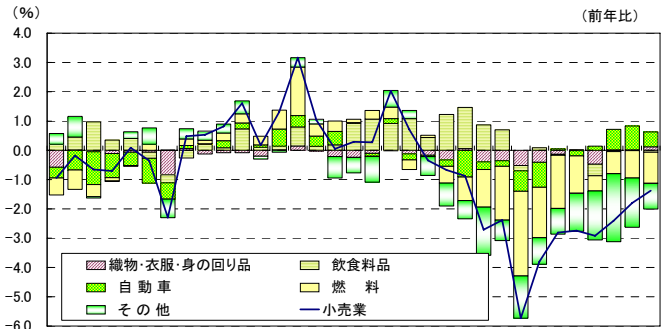
小売販売額の推移



(資料) 経済産業省「商業販売統計」

(注) 実質値については、消費者物価指数(「財」から「電気・都市ガス・水道」を除いたもの)により実質化
09年9月については、当社予測値にて実質化

小売業販売額(業種別寄与度)



(資料) 経済産業省「商業販売統計」

2. 主力商品の落ち込みが続くスーパー、百貨店

09年9月の大型小売店の販売額（百貨店とスーパーの合計）は1兆4936億円、既存店ベースで前年比▲5.6%となり、18ヵ月連続して前年を下回った。スーパー売上高（同▲4.2%）、百貨店販売額（同▲7.9%）共に前月から悪化幅が縮小したものの、主力商品である飲食料品、衣料品の落ち込みが続いている。

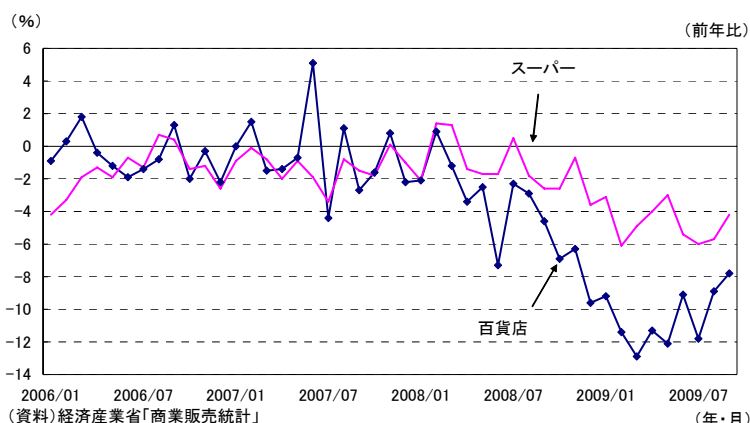
百貨店販売額（既存店）を商品別にみると、紳士服・洋品（前年比▲11.1%、8月：同▲11.3%）、婦人・子供服・洋品（同▲10.2%、8月：同▲11.5%）となるなど、販売額の4割強を占める衣料品全体（同▲10.2%、8月：同▲11.7%）で若干悪化幅が縮小した。また、その他の商品でも、飲食料品（同▲2.9%、8月：同▲4.8%）、家庭用・電気機械器具（同▲0.9%、8月：同▲5.5%）などで悪化幅が縮小した。

コンビニエンスストア販売額（商品販売額及びサービス売上高）は6610億円、前年比▲2.4%（全店ベース）と、3ヵ月連続して減少した。

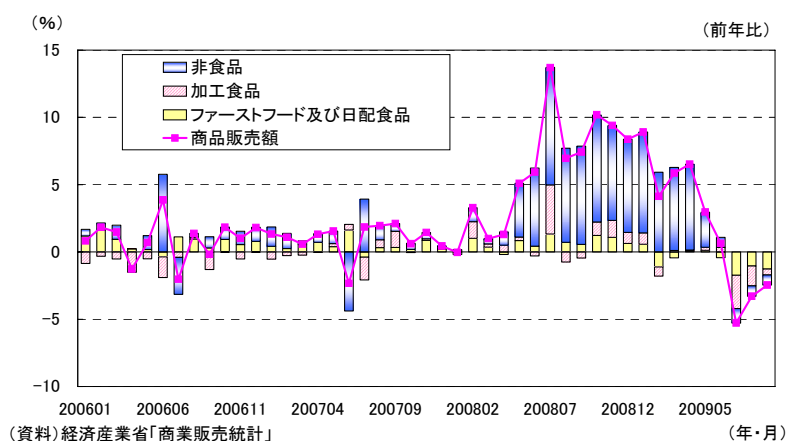
商品別にみると、非食品（前年比▲2.2%、8月：同▲2.4%）に加え、ファーストフード及び日配食品（同▲3.6%、8月：同▲2.9%）、加工食品（同▲1.4%、8月：同▲4.7%）も3ヵ月続けての減少となった。

依然、雇用・所得環境の厳しい状況が続いているものの、エコカー減税などの政策効果から自動車販売等を中心に個人消費には持ち直しの動きが見られる。消費者マインドを表す消費者態度指数も08年12月の26.2を底に9ヵ月連続して上昇を続けている。ただし、個人消費は政策効果により下支えされている部分が多く、先行きについては、政策効果が弱まるにつれ息切れする可能性が高い。

百貨店及びスーパー販売額推移(既存店ベース)



コンビニエンスストア商品販売額(全店ベース 寄与度)



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。